

# 道徳通信

能美市立辰口中学校 平成28年 4月22日(金) NO. 1



『道徳通信』を発行して3年目になります。今年度も辰口中学校では、この通信を通して保護者や地域の皆さんに、本校で行われている道徳の授業の内容をご紹介します。

辰口中学校の道徳の授業では、いろいろな価値について

- ①はじめの考えをもつ
- ②全員で同じ資料を読む
- ③登場人物の気持ちや、行動について考える
- ④みんなで意見を交流して、考える

の活動を通して、お互いに考えを深めています。その中で、今まで知らなかった考えに気付いたり、自分の生き方を考えるきっかけになったり、頭で考えていたことを行動に移すことができたりと、様々な場面で子どもたちの成長を実感しています。そして、特に今年度は、④を重視し、学校をあげて「話し合う道徳」授業を作っていきます。週に1回の道徳授業を自分の「心を豊かにする時間」として大切にしていきたいと思います。また、この道徳通信を通して、ぜひご家庭でも「道徳」について話をしてみて下さい。



## ◆◇4月15日(金)に新しいクラスで道徳の授業参観がありました!◇◆

### ～3年生\*「がんばる意味」より～

3年生は、「がんばる意味」という資料を扱いました。重松清氏の『みんなのなやみ』という本の一節で、10代の学生から「『がんばる』意味」の相談を受けた重松清氏の回答を取り上げたものです。

(以下、理論社のホームページ「10代の悩み相談室」コーナーにメールで寄せられた貴子さんの質問)

まじめに悪いことをせず、勉強しろとよく言われるけど、不安定なこの時代、本当にそうしたらって幸せになれるんでしょうか？一所懸命がんばって意味はあるんですか？

貴子さん(14歳) 中2・岡山県

この質問を受け、3年生は自分なりに「がんばる意味」について考えました。そして、授業の後半では、重松氏同様、貴子さんへのアドバイスを書いてもらい、お互いに意見を交流し、発表しました。



# ☆ 3年生のみんなから貴子さんへのメッセージ ☆

貴子さんへ

私はがんばることに意味はあると思います。なぜなら、がんばることで自分の小さな目標、大きな目標に向かって努力しようとする「心」を育てられるからです。うまくいなくても必ずどこかで報われます。今がんばるから、後で「がんばればよかった」と後悔しないのです！ぜひ、がんばって下さい！！

貴子さんへ

貴子さんには、今しか頑張れないことがたくさんあります。そのことを忘れないで、一生懸命頑張ってみて下さい。頑張った人にしか分からない嬉しさや悔しさがたくさんあります。結果に自信がなくても、頑張れたことが次への自信へつながれます。

貴子さんへ

私は「頑張ることに意味があるのだろうか」と聞かれたら、「ある」と答えます。人生は上手くいかないことがほとんど。自分も「なぜ頑張らなければいけないのか？」と思うときもあるけれど、頑張ったからこそ得られるものもあると思うし、その結果、たとえ失敗したとしても、それすらも大切な経験となると思うからです。自分一人ではなく、周りの支えてくれる人と一生懸命、少しずつ頑張れば良いと思います。

## 授業を終えての感想

重松さんの「がんばる意味」を読んで、「今のうちにたくさん「負け」を知っておくことが大事」という言葉に、失敗をおそれずにがんばろうと思いました。また、保護者の方の「目の前のことに挑戦しよう」という言葉にも励まされました。

友達のアドバイスや意見を聞いて、自分が思いつかなかった考え方に会ったり、逆に自分が「なるほど」と勇気付けられるような意見がたくさんあって、とても素敵だなと思いました。失敗も成功も良い経験の一つとして頑張っていきたいと思いました。

## 保護者の方から頂いたご意見

・やっていないよりやった方が成長するし、自信につながる。この冬の基礎でがんばったことに胸を張り、精一杯試合に挑んでほしい！みんな、応援しています。

・部活と受験勉強の両立、大変だと思うけど、今を一生懸命楽しんでください。

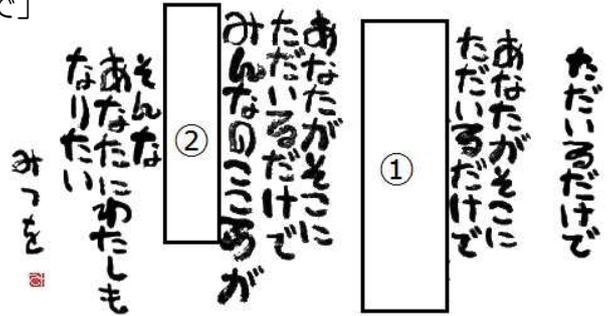
・「報われない人は頑張っていない」と言っていましたが・・・あなた自身がまだ頑張っていないからこそ出てくる言葉だと思います。これからのあなたの報われる頑張りには期待しています！！

・今、自分が大人になってみて、「あの時あれをやっておけば…」と思うことが時々あります。“がんばる”の度合いは人それぞれ。自分のできる限りの“がんばる”でいいと思います。大人になって悔いの残らない毎日を送って下さい。



## ～2年生＊相田みつを 詩「ただいるだけで」より～

2年生は全クラスで相田みつを氏の詩「ただいるだけで」を取り上げ、自分や仲間の存在に改めて感謝すると共に、「こうありがたい」と春らしい向上心を持つことができたように思います。子どもたち、そして保護者の方々に考えていただいた想いをご紹介します。



### ①に入る【生徒の言葉】 「あなた」と同じ班の仲間だと思って考えてみると・・

喜びがあふれてくる。周りの人が笑顔になれる。この場の雰囲気や和む。みんなの支えになる。場がまとまる。すごく癒される。周りの雰囲気が明るくなる。元気になれる。楽しい気分になる。盛り上がる。友達との会話が進む。クラスの楽しい会話が進んでいく。私の心があったかくなる。みんなが優しい気持ちになる。会話が楽しく、穏やかになる。みんなが笑いだす。みんなが集まってくる。毎日楽しく元気で学校にいられる。友達が寄ってくる。

### ②に入る【生徒の言葉】 「あなた」と同じ班の仲間だと思って考えてみると・・

穏やかになる。温かくなる。ハッピーになる。和む。明るくなる。落ちつく。楽しくなってくる。笑顔になれる。ハッピーになる。癒される。燃えていく(いい意味で盛り上がる)。暖まる。優しい気持ちになる。明るく元気になる。

### ①に入る【保護者の言葉】 「あなた」を自分の子供だと思って考えてみると・・

穏やかになれる。優しくなれる。笑顔になれます。頼りになる。ママは強く優しくなれる。安心感に包まれる。お母さんは元気になれる。パワフル全開。ただただ頑張っ、生きていこうと思える。

### ②に入る【保護者の言葉】 「あなた」を自分の子供だと思って考えてみると・・

許し合って、いつの間にか笑いあえる。和みます。明るくなる。晴れになる。癒される。明るくなって、楽しいことを考え始める。元気になる。ほっこりなる。みんなの顔が笑顔になる。



### そんな「あなた」は、どんなことができる人だろう

#### 【生徒の言葉】

相手が楽しくなることを言える人。相手一人ひとりを大切に、相手を思いやれる人。人の為に骨を折れる人。困っている人を助ける人。心配りができる人。みんなを笑わせようと努力している人。一生懸命頑張る人。優しく温かい目で見守ることができる。周りをしっかり見ている人。器の広い人。いつも一緒にいてくれる。人を大切にできる人。ポケモツッコミもできる人。人の話が聞ける。いろんな人と話せる人。その場にいるみんなを心から大切にできる人。努力している人。人のために動ける人。信頼できる。

### そんな「あなた」は、どんなことができる人だろう【保護者の言葉】

普通に過ごす日々が幸せだと思える人。全てのことに感謝できる人。相手の立場に立って、その人の気持ちを考えてあげられる人。何事にも真剣に取り組める人。人に優しくできる子。周りの人間にいい影響を与えられる子。社会のルールを守ることができる人。正しいこと・悪いことを判断できて、それをしっかり意思表示できる人になって欲しい。自立して生活することができる人。助けてほしいときに、「助けて」を言える人。責任感を持てる人。自分の持つ部分で、自信の持てる人。人のために真剣になれる人。自分で考えて、行動できる人。年を重ねても、人の痛みがわかり、人に優しくできる人。何事も一生懸命取り組める人。責任感のある、他の人に全を行うことができる愛と正義と勇気のある人になって欲しい。

どんな人に育ち、どんな成長をするのかを、自分で選び、自分で考える人。他人の立場に立って物事を考え、声をかけることができる人。自分自身のことを信じていることができ、周りの人のことを理解する人。

自分自身を大切にできれば、周りの人も大切にできると思うので、まずは自分を理解して、自分自身をプロデュースできる人になってもらいたいです。

### 【授業を終えて】

・友達が自分のことについて書いてくれたのがうれしかった。この授業をしてよかった。

・みんなが発表していた「人を笑顔にできる人」や「困っていた人を助けてあげられる人」に自分がなれていたらいいなあと思いました。

・このクラスにはいい人ばかりで、とても楽しいクラスなのがよくわかりました。

・みんなの意見を聞いて、正直僕はそんな大きなことはできないと思いました。でも、気配りができます。今日から始めることができます。小さな気配りを続けられたらなあと思います。

・今日の授業で、改めて、友達がいるから学校が楽しいのだと思うことができました。これからも友達を大切にしていきたいです。



## ～1年生\*「大切なもののちがい」より～

1年生は「大切なもののちがい」という題材で、自分にとって大切なもの、そして友達や家族にとって大切なものの違いについて考えました。人によって何を大切に思うかは、育った環境や置かれた立場で異なってきます。意見を交流することで、多様な価値観に触れました。

### 【授業を終えて】

1人1人違う意見で、「なるほど」と思ったり、「なんでだろう」と思ったりしました。また、なんでその答えを出したのかや、自分と同じ人の理由を聞くことが面白かったです。人それぞれ違うことから、色々な答えが出てすごく面白いな、と思いました。

グループで話しても、全員でやるときも、「育ててくれた」という理由で、「親」が一番多かった。やっぱり物では表現できない“あたたかさ”が自分を大切に思ってくれている人にはあると思った。

自分は「時間」が大切だし、何でもできるのでそうだと思ったけど、友達の意見を聞いて、「家族」というか「親」の存在もやっぱり大切だと改めて思いました。

私は親が一番大切だと思っていたけど、グループで話し合ったら色々な意見が出て、みんな思っていることは違うと実感しました。



授業の最後に「ちがいを豊かさに」(大月書店)という本の一節を紹介し、「違う」ことのよさについて確認しました。

みんな同じ意見なら  
新しい考えも生まれない